

地方公共団体名	佐賀県唐津市
所属部局 担当者名	市民環境部 環境課 カーボンニュートラル推進係 担当：副主査 檜崎 徹
地域の抱える 課題	<p>【環境・脱炭素に関する課題】</p> <p>環境面において本市での地球温暖化防止に向けての取り組みについては、家庭生活や公共・民間の事業活動における省エネルギーの取り組みを進めることにより、温室効果ガス（二酸化炭素など）の排出量の削減に努めてきました。</p> <p>また、本市の自然豊かな地域特性を活かした再生可能エネルギーの利用を推進してきました。近年の本市の1人あたりの年間温室効果ガス排出量を見てみると、2013（平成25）年度以降は減少傾向にあります。また、再生可能エネルギー発電設備導入容量は令和3年度現在で191,924kWとなっており、着実に増加しています。</p> <p>さらに今後は、省エネルギーへの取り組みや再生可能エネルギーの導入といった「緩和」の取り組みだけでなく、地球温暖化による気候変動への「適応」に対する取り組みを進めることが必要であると考え、今年度、地球温暖化実行計画（事務事業編）の改訂を控えている中、市が率先して行動することで市域の産業の発展と地域脱炭素の両輪をいかに進めるか、具体的な取り組みの検討及び職員の意識啓発が課題と認識している。</p>

	<p>【同時解決したい地域の課題】</p> <p>現在、環境省の「地域循環共生圏づくり支援体制事業」の認定受け、「ネイチャーポジティブ・生物多様性の保全」について重要なテーマと位置づけ、産官学民連携の地域プラットフォームを構築し、事業を進めております。</p> <p>本市は国定公園や国の特別名勝などの美しい景観資源や自然資源をはじめ、豊かな農水産物や再生可能エネルギー資源に恵まれた地域となっており、これらを産業・観光や防災に生かし、経済・環境・社会の三側面の取組を更に深め、持続可能な地域づくりを推進していきたい。</p> <p>【キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「唐津市版地域循環共生圏」実現を目指して ・生物多様性の保全（ネイチャーポジティブ）（自然共生サイト） ・ブルーカーボンの創出 ・海洋プラスチック問題
地域のありたい未来	多様な主体が積極的に連携・協力し、自然資本と調和した多様な”ビジネス”が創出/共創される街づくり
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーカーボン創出事業 ・ネイチャーポジティブの実現に向けた自然の状態や価値の見える化の実証事業 ・自然環境が有する多様な機能をインフラ整備に活用（グリーンインフラ）した災害に強い街づくり ・海洋プラスチック問題の解決を目指した取組み（海洋プラスチックのリサイクルの推進など）
企業に求めたい内容	「唐津市版地域循環共生圏」の実現を目指して、本市の恵まれた自然資本と調和した多様な事業の創出に向けた市域内外の多様な企業との相互連携による資金循環や人材交流の促進など